

次の収穫に備えましょう！

収穫後や更新時は畠の土がむき出し（裸地）状態になっており、手間や費用をかけて作った良い土は、粒子が細かくすぐに流れてしまします。大雨で流れてしまっては、農家自身の損失も多大です。



＼農家自身で、できる対策を／

グリーンベルト



畠の周りにベチバーを植えることで赤土の流出を抑えることができます。また生長したベチバーを刈り取り敷き草にすることで雑草も抑制できます。

緑肥（クロタリア・ひまわりなど）



緑肥を植えることで「裸地化」を避け赤土流出の防止や雑草の抑制、土壤改良も期待できます。

敷き草マルチ



収穫後のキビの葉などを畠に敷くことを敷き草マルチといい、雨水が直接土に当たるのを防ぐことで赤土の流出を防止することができます。※大雨が降ると敷き草が側溝に詰まる原因になります。こまめに手入れをしましょう。

さとうきび倒伏防止



道路や歩道の安全を守りましょう。

※道路から50センチ程度、間隔をあけて植え付けを行いましょう。

＜優良な土地は貴重な財産です＞長く大切に生かしましょう。

お問い合わせ先：赤土流出防止対策協議会（久米島町役場 産業振興課内）

☎098-985-7134